

リモコン ネオスリムV

インバーター 高調波ガイドライン適合品

プルスイッチレス機能搭載

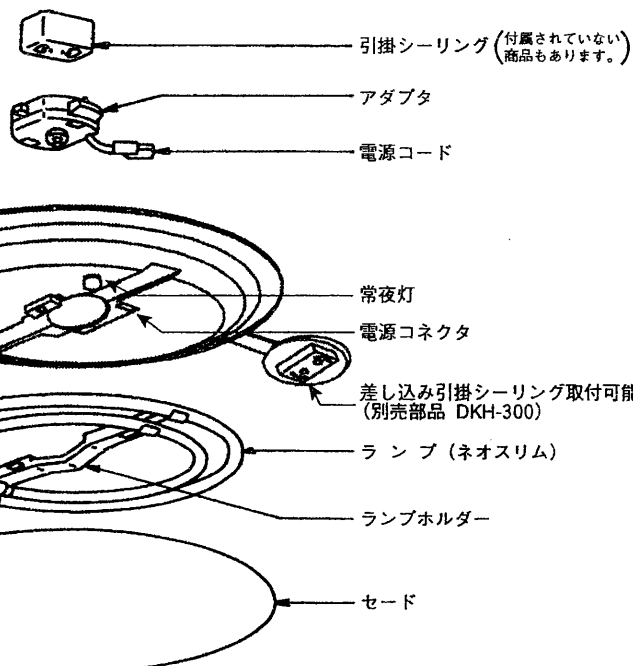
虫の入りにくい構造

楽省資源

楽省施工

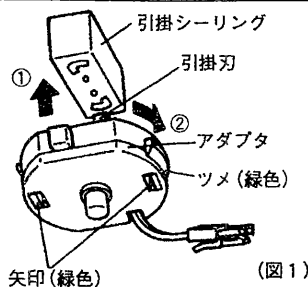
楽省メンテ

リモコン送信機



器具の取り付けかた

1. 天井の引掛シーリングにアダプタを取り付けてください。

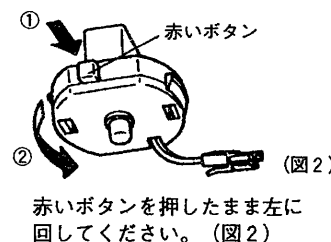


- ①二本の引掛刃を引掛シーリングに挿入します。(図1)
- ②“カチッ”と音がするまで右に回します。(図1)

△注意

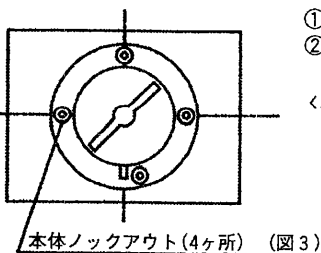
赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。
アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

アダプタのはずしかた

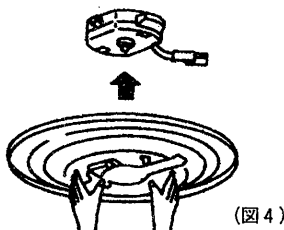


赤いボタンを押したまま左に回してください。(図2)

2. 本体を取り付けてください。



- ①ランプホルダーの赤いボタンをつまんで本体からはずします。
 - ②本体の中央寄りを手で支え、本体ノックアウト(4ヶ所)を部屋の軸方向に向けながら(図3)、アダプタとの位置を合わせて本体をまっすぐに押し上げます。(図4)
- 〈ご注意〉 本体ノックアウトの方向をずれて取り付けると角形などのセードが部屋の方とずれて取り付けてしまいます。ご注意ください。
器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)



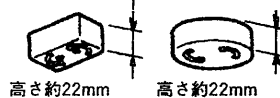
JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適用できます。

埋込引掛シーリングの場合

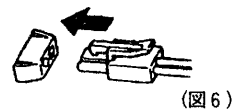
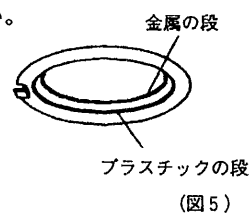


1 段回押し上げてアダプタのツメを図5の金属の段に取り付けてください。(図5)

角形・丸形引掛シーリングの場合



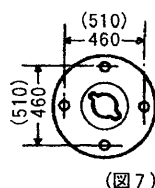
2 段回押し上げてアダプタのツメを図5のプラスチックの段に取り付けてください。(図5)



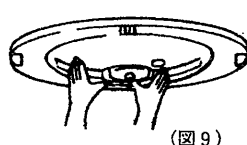
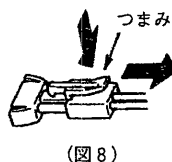
- ③アダプタの電源コードを電源コネクタに差し込みます。抜けないことを確認してください。(図6)

本体のはずしかた

○本体を取り付けた後、本体が安定しないときは、図7のノックアウトを利用して木ネジで止めてください。

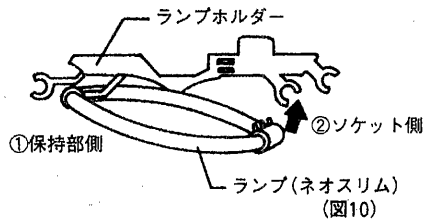


※()内は114W形用の場合です。



- ①ランプホルダーを本体からはずします。
- ②電源コネクタをはずします。
つまみを押しながら引き抜いてください。(図8)
- ③両手で本体を押し上げながら中央にある赤いボタンを押してください。(図9)

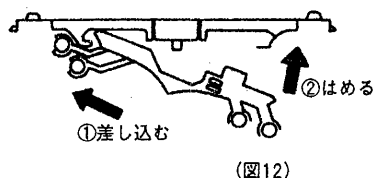
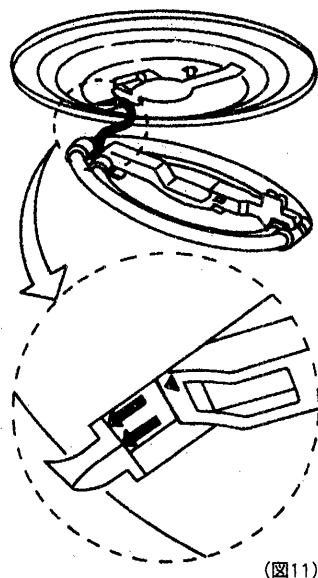
3. ランプホルダーを取り付けてください。



- (1) ランプホルダーにランプ(ネオスリム)を①保持部側②ソケット側の順で取り付けます。(図10)

⚠ 注意

ランプをソケットに確実に取り付けてください。
取り付けが不十分ですと点灯しなかったり火災の原因となります。



- (2) ①ランプホルダーの矢印表示部分を本体の矢印部分に差し込んでから(図11)、②ランプホルダーを本体にはめ込んでください。
このとき、“カチッ”と音がして、確実に取り付けいたことを確認してください。(図12)
ランプホルダーを軽くひっぱってはずれないことを確認してください。

⚠ 注意

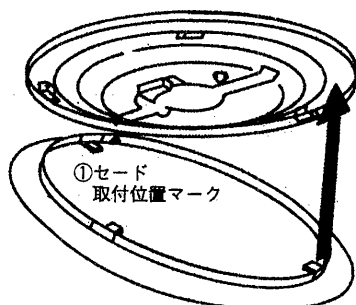
電源コードをアダプタ中央の赤いボタンとランプホルダーとの間にはさまないでください。器具落下の原因となります。

- (3) 電源コードがたるんでいる場合は、ランプホルダーのフックにコードを引掛けてください。(図13)

—ランプホルダーのはずしかた—

ランプホルダーの赤いボタンをつまんではずしてください。

4. セードを取り付けてください。



(図14)

- ①セードと本体の取付位置マークを合わせます。(図14)
②セードと本体を合わせます。
③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。(図15)

〈ご注意〉 取付位置マークを合わせない場合、角形などのセードが部屋の方とずれて取り付けてしまいます。ご注意ください。



(図15)

⚠ 警告

セードを本体に確実に取り付けてください。
取り付けが不十分ですと、落下してけがの原因となります。

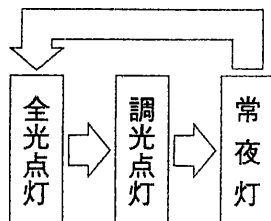
—セードのはずしかた—

“カチッ”と音がするまで、セードを左に回してください。

■器具の使いかた

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

ブルスイッチレス 機能



・・・この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。

- 壁スイッチをOFFにして、**約1秒以内**に壁スイッチをONにすると、左図の順序で器具の点灯状態が切り替わります。
- 壁スイッチをOFFにして、**約1.5秒以上**過ぎてから再び壁スイッチをONにするとOFFする前の状態で点灯します。

※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作、もしくはマニュアル操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにしても消灯状態のままです。

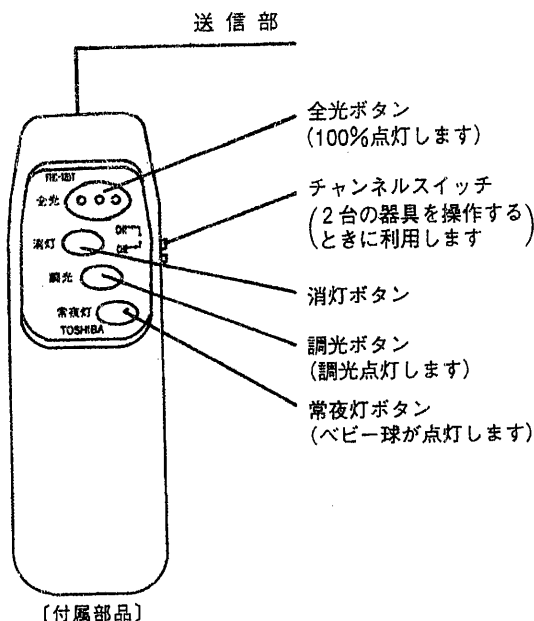
(ご注意) 1個の壁スイッチで2台以上の**ブルスイッチレス**機能搭載器具を操作することは避けください。同時に切り替わらない場合があります。

- リモコンまたはマニュアルスイッチは壁スイッチがONの時のみ切り替えができます。
- リモコンまたはマニュアルスイッチで消灯した場合、停電が発生した際、ブルスイッチレス機能がはたらき全灯点灯になることがあります。
- ブルスイッチレス機能付器具は、壁スイッチと併用してお使いください。

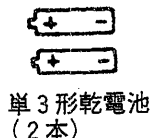
器具の使いかた

各部のなまえ

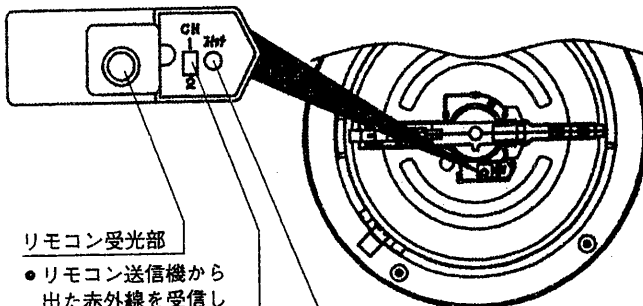
リモコン送信機



〔付属部品〕



照明器具の切替スイッチ部



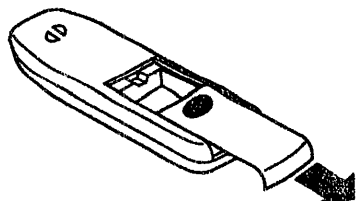
ご注意

- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください。)

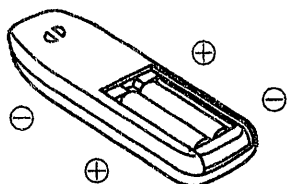
※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。

1. リモコン送信機に乾電池を入れてください。

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単3形乾電池を表示に合わせて極性⊕⊖をまちがえないように入れてカバーを閉めてください。



- リモコン送信機の平均電池寿命は1日10回使用の場合約1年間がめやすです。

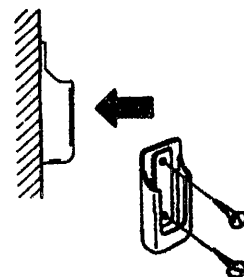
ご注意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。
動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、電池を外しておいてください。
液もれなどでリモコン送信機をいためる原因となります。

2. リモコンホルダーのご使用方法

- リモコン送信機の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご利用ください。

付属の木ネジでリモコンホルダーを確実に固定してください。

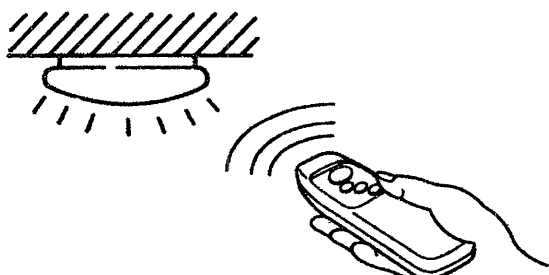


ご注意

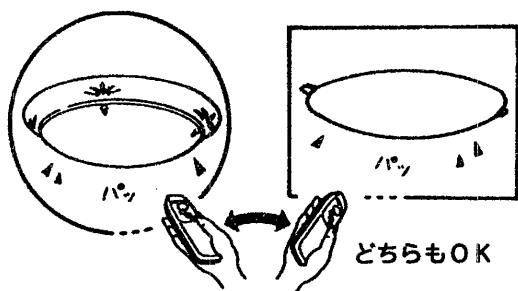
- リモコンを操作する際は、ホルダーから送信機をはずして器具に向けてください。

3. リモコン送信機による照明器具の点滅操作

- リモコン送信機を照明器具に向けて、お好みのボタンを軽く押してください。照明器具内のブザーが“ピッ”となってお好みの点灯状態に切り替えられます。

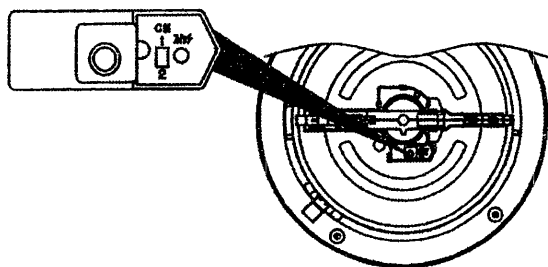


- 2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信機により行えます。それぞれの照明器具側のチャンネルをチャンネル1・チャンネル2と個別に設定した場合、リモコン送信機のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみが動作します。



4. マニュアルスイッチによる点滅操作

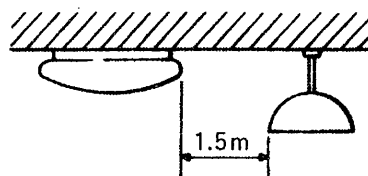
- リモコン送信機の電池切れ・紛失時にマニュアルスイッチをお使いください。



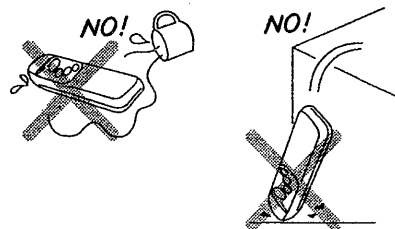
- マニュアルスイッチを押しますと、(全光)・(調光)・(常夜灯)・(消灯)の切り替えができます。

5. リモコン使用上のご注意

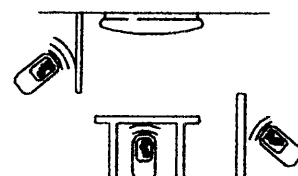
- 付属のリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコン送信機やマニュアルスイッチで消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約2Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。



- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。



- リモコン送信機の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。



- リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えしてください。

